

クラウドセキュリティ状態管理

# 「CSPM」 のススメ



## 日本でも急速に進みつつある「マルチクラウド化」

最近ではクラウドもビジネスの目的に合わせ、適材適所で選ぶという企業が増えています。その一方でビジネススピードを高めるため、事業部門の判断だけでクラウドの利用を開始するケースも少なくありません。その結果、多くの企業で「マルチクラウド化」進んできました。

ビジネスの目的に  
合わせて最適な  
クラウドサービスを選択

環境が整っているため  
事業部門だけで利用開始  
ビジネススピードがUP

急速に広がっていく  
「マルチクラウド化」

### しかしこれにより、セキュリティリスクも増大しています。

例えば設定不備による情報漏えい。アカウント乗っ取りによる不正利用。そして無意識のうちに犯してしまうコンプライアンス違反。十分な知識がないままクラウドを使うことで、数々のリスクに直面することになります。しかし利用部門に徹底したセキュリティ教育を行うのは、現実的とは言えません。またITの部門が全てを事前にチェックすることも、大きな負担を伴います。そして実際には多くの企業で、クラウドやセキュリティの「有識者」が不足しているのです。

設定不備で  
情報漏えい!



アカウント  
乗っ取り!



コンプライアンス  
違反!



この問題を「CSPM」  
解決できるのが「CSPM」です。

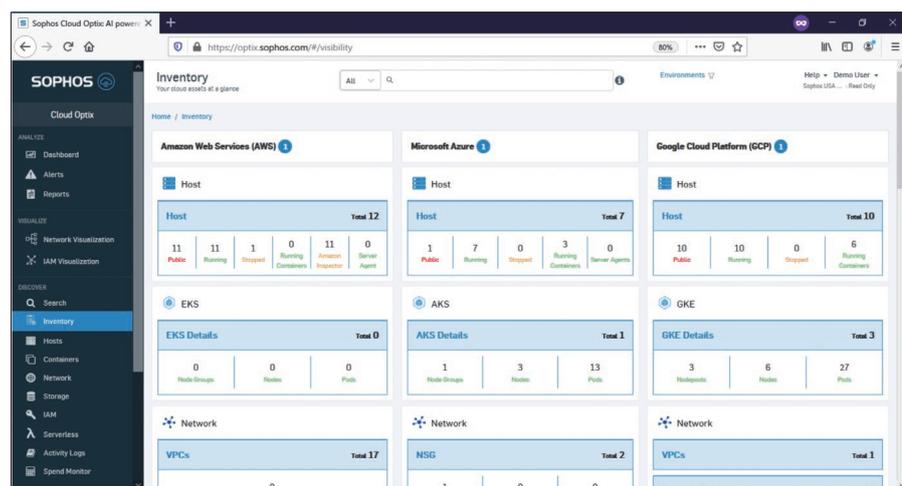
Cloud Security Posture Management

# 「CSPM」

# 有識者のかわりにリスクを自動チェック！ 危険な状態をいち早く可視化し対処できるようにします。



CSPMとはクラウドの状態を継続的に評価し、利用企業にとって適切な状態を維持し続けることを支援するサービス。クラウド利用企業の「かかりつけ医」のようなものだと考えればいいでしょう。DTCは「Sophos Cloud Optix」を活用したCSPMを提供。これにより次のことが可能になります。



## マルチクラウド上の 資産を可視化

AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platformの上で稼働しているマシンの種類や数などを、ダッシュボード画面で可視化できます。

## クラウド利用に関する コンプライアンスチェック

利用企業が満たすべきコンプライアンス要件を指定しておくことで、それへの適用状況を自動的にチェックします。

## インシデント対応

利用クラウドに対する疑わしいトラフィックをAIでチェックし、異常動作が検知された場合にセキュリティアラートを上げます。

# 業界最安値を実現！ スモールスタートも可能です。

DTCのCSPMを活用することで、ルールに縛りすぎないクラウドセキュリティが実現可能。これによってクラウドのメリットを安全に享受できるようになります。また属人性を排除できるため、IT部門の負担も軽減されます。



クラウドセキュリティ状態管理「CSPM」は、DTCにおまかせください。

## デジタルテクノロジー株式会社

[ 本 社 ] 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5丁目7-18 コスモパークビル  
TEL: 03-5604-7801 FAX: 03-3802-3400  
[大阪支店] 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-7-53 Marutaビル  
TEL: 06-6393-1301 FAX: 06-6393-1300  
<http://www.dtc.co.jp>